

モンゴル国における睡眠医療分野の人材育成と体制整備事業

- モンゴル国では、睡眠時無呼吸症候群をはじめとする多くの睡眠障害患者が診療をされておらず、現地の医療機関より、睡眠医療を始めるための研修や体制整備を要望されている。
- 睡眠医療専門施設(愛媛大学医学部附属病院睡眠医療センター)と医療機器企業((株)小池メディカル)を中核として、モンゴル医科大学、モンゴル医学アカデミー、モンゴル神経学会と共同で、オンラインおよび現地での研修を実施する。
- 愛媛大学がモンゴルの医師・看護師に対して実践的な睡眠医療研修を行うことで、令和4年1月までにモンゴル国内での睡眠検査と治療導入を増加させ、日本製治療機材の導入を見込む。

